

■ 松江市街地治水対策検討委員会 ～委員会の目的と第1回検討委員会の概要～

松江市街地の浸水被害の軽減・解消を図るため、河川工学や環境、景観分野などの専門家と住民代表者で構成された松江市街地治水対策検討委員会を設立し、松江市街地の治水計画について検討することとしました。

平成22年3月8日に開催した第1回松江市街地治水対策検討委員会では、松江市街地の河川の概要や浸水被害の状況、既存計画の概要及び治水対策に関する現状と課題について事務局から説明し、委員からは「治水上効果があるからといって、一律に川幅を広げる計画では今ある素晴らしい川の景観を壊してしまう。多少は我慢することも必要なのではないか」「計画策定には合意形成を十分に図る必要がある。早い段階から情報提供を行っていくべき」「今後は『我慢』することも含め、どの程度の規模の洪水に対する計画を目指すのか議論していく必要がある」等の意見が出されました。

■ 第2回検討委員会 開催！

平成22年7月30日（金）に島根県市町村振興センターにおいて「第2回松江市街地治水対策検討委員会」を開催しました。

人事異動により国土交通省出雲河川事務所長の林正道委員の後任として平山大輔委員が新委員となりました。

また総合治水対策を実施していくうえで、松江市が管理する施設や実施する事業との連携・調整が不可欠であることから、事務局として松江市建設部河川課を加えました。

【総合治水対策について】

松江市街地に降った雨を安全に流すためには、都市化の進んだ市街地では川の拡幅だけで対応することは限界があり、学校のグラウンドや田んぼ、ため池などを有効利用し、降った雨を貯留させるなどの総合的な治水対策を図る必要があります。

このたびの検討委員会では、総合的な治水対策として様々な事例を紹介しました。

※別紙資料を参考としてください。



【朝酌川合流計画について】

朝酌川の合流を検討する地域は、大橋川と朝酌川に挟まれた良好な湿地から成り立っていることから、水環境や生態系への影響に配慮する必要があります。またこの地域は優良農地が広がっており、農地所有者の耕作意欲が強い地域でもあります。

こうしたことから朝酌川と大橋川の合流点位置の検討については、これまで国・県・市で調整を図り、事業費だけでなく、環境面や農地等への影響についても総合的に評価を行い、将来的には②下流ショートカット案（手貝水門下流地点）で合流する計画としました。今後の松江堀川等の治水検討にあたっては、②案を朝酌川の合流条件とし、進めていくこととします。

※別紙資料を参考としてください。

【現地視察】

総合治水対策の説明後、松江市街地の河川や流域の状況を委員の方々に見て頂きました。

内水対策として国土交通省が計画している天神川水門の設置予定箇所や、平成18年7月豪雨災害を契機に設置した京橋川水門、また河川改修事業の進められている中川や流域対策として検討中のため池の現在の状況等を視察しました。



中 川



京橋川水門



北田川

【意見交換】

視察後は、現地の様子を踏まえて、委員の方々から今後の治水計画の検討における意見や留意事項など貴重な意見を頂きました。

主な意見

- ・ 民間施設も含め効果的な流域対策を検討するべきではないか。
- ・ まずは松江堀川等の河川でどの程度まで対応できるのか明確にしたうえで、河川と流域との分担を協議していくべきではないか。
- ・ 宅地開発時には指導が必要ではないか。
- ・ 被害軽減対策としてソフト対策等の検討も必要ではないか。
- ・ 地盤高等の情報提供が必要ではないか。

【今後の予定】

11月下旬に開催を予定している第3回検討委員会では、このたびの意見を参考に、松江堀川等の計画規模・計画の方向性等の目標を明確にしたうえで、河川改修と流域対策との流量分担計画も含めた治水計画（案）について検討することとしています。

お問い合わせ先: 松江市街地治水対策検討委員会 事務局
島根県土木部河川課
企画防災グループリーダー 若槻 和浩
TEL:0852-22-6747 / FAX:0852-22-5681

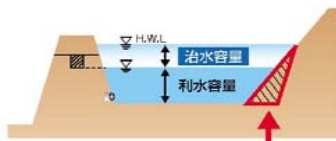
↓松江市街地治水対策検討委員会の情報はこちらをご覧ください↓
http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/matsuetisui/tisui_top.html

代表的な流域対策のイメージ

ため池の治水活用

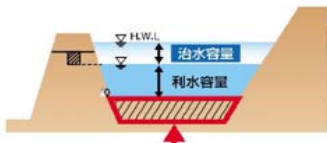
- ・ため池に治水容量をもたせる。
(ため池の改築)
- ・田の市街地化に伴うかんがい容量の減少分を治水容量へ転換する。
- ・廃止ため池の治水活用

法面掘削



法面を掘り込んで治水容量を確保

池底掘削



池底を掘り下げて治水容量を確保

堤体盛土

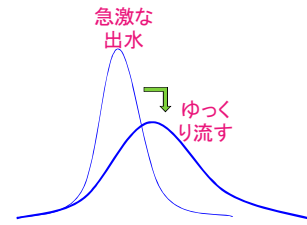


堤体に盛土をし、余水吐を高上げし、治水容量を確保

出典：大和川流域総合治水対策パンフレット(大和川流域総合治水対策協議会)

校庭貯留

校庭に雨水を貯留しながら流すことで、集中的な雨をゆっくりと流しだす



平常時



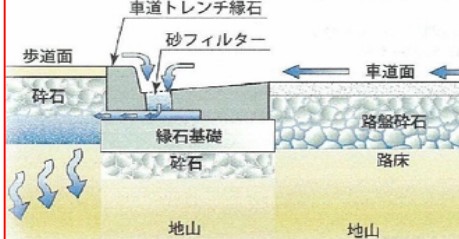
洪水時

出典：寝屋川流域総合治水対策パンフレット(大阪府土木部河川課)

車道での工夫

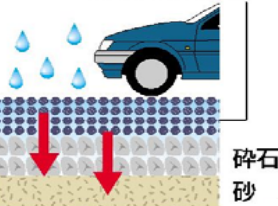
車道排水を地下浸透させる

車道トレンチ



- 施工例
- 歩道での貯留または浸透
 - 植樹帯への給水
 - 車道での貯留または浸透
 - 下部U字溝に流入する道路排水の水質改善

透水性アスファルト

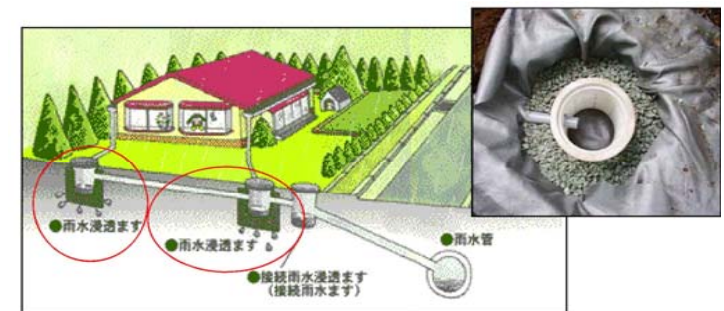


出典：大和川流域総合治水対策パンフレット(大和川流域総合治水対策協議会)



個人住宅等への貯留浸透施設

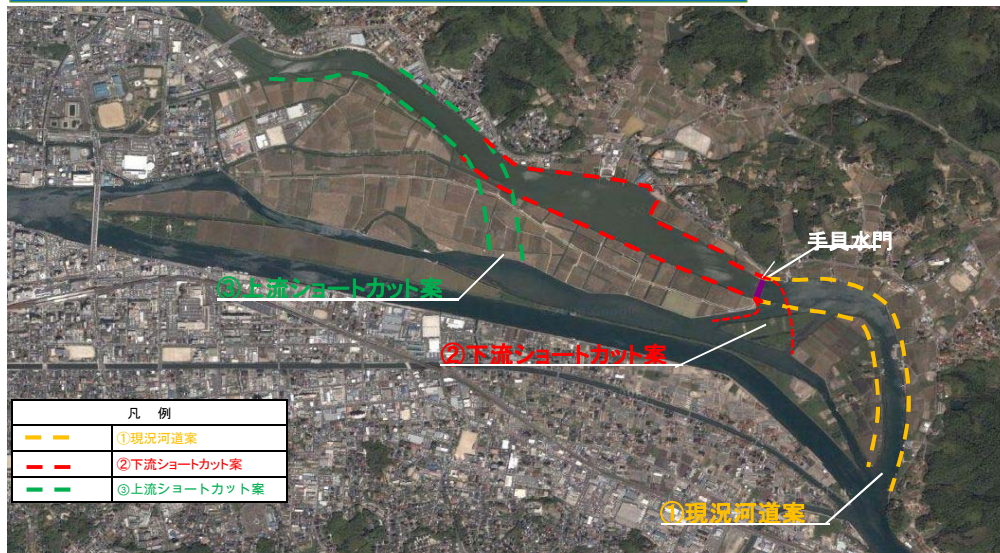
既成市街地内の個人住宅・団地等への敷地内に、雨水浸透ます等の貯留浸透施設を設置



出典：河川局資料

朝酌川合流計画

朝酌川は事業費や環境面等の総合評価を行い、将来的には②下流ショートカット案(手貝水門下流地点)で合流する計画とする



朝酌川合流計画 総合評価表

案 項目	① 現況河道	② 下流ショートカット	③ 上流ショートカット	備考
事業費	×	○	△	
地元要望	×	○	×	優良農地の減少
自然環境	×	△	×	湿地の減少
水環境	○	△	×	旧朝酌川への影響 (閉鎖性水域)
景観	○	○	×	広大な水郷風景への影響
土地利用	○	○	×	土地利用への影響 (中州の分断)
総合評価	△	○	×	